

# V3.2からV3.3の変更点

## • 機能の追加修正

- 編集画面でプログラムをリアルタイムでチェックするようにしました。構文エラーがある間は画面に薄く色がつきます。
- 編集画面の標準のフォントサイズを16ptから24ptに変更して大きめの文字が表示されるようにしました。
- 統計機能を追加しました。テーブルを利用したデータ集計や統計機能を利用できます。
- 配列の要素を「a[]1[]読む」の代わりに[]a\_1[]の形でも参照できるようにしました。
- WebAPIオブジェクトを追加しました。
- Webクライアントの「読む」でポート番号とエンコーディングを指定できるようにしました。
- ラベルに「変身する」を追加しました。画像ファイルを貼ることができます。
- GUIオブジェクトを参照すると内部に格納された文字列が返るようにしました。テキストエリアとリストは各行が空白で連結され、選択メニューは選択されている要素が返ります。
- 音楽のバンドオブジェクトの「作る」でメンバーを指定できるようにしました。
- テキストファイルに「新規？」を追加しました。ファイルが存在しないことを確認します。
- テキストファイルで存在ファイルを読んだときに、未定義オブジェクトではなく、空の配列を返すように変更しました。
- 全オブジェクトに「propnames[]命令を追加しました。オブジェクトに定義されているプロパティ名を配列で返します。
- 全オブジェクトに「setprop[]命令と「getprop[][]命令を追加しました。プロパティを設定したり参照したりできます。
- ルートオブジェクトに「作る」命令を追加しました。独自のオブジェクトを定義する際に使えます。
- ルートオブジェクトと配列オブジェクトを参照したときに、内部のプロパティと要素をJSON形式の文字列で返すようにしました。
- WebAPIのサンプルプログラムとして[][]apibook.dtl[][]apiokashi.dtl[][]apistation.dtl[][]apiweather.dtl[][]api\_zipcloud.dtl[]の5個のファイルを追加しました。

## • 不具合の修正

- 要素が8個以上のリストを作成したときにスクロールバーだけの表示になる不具合を修正しました。
- 実行画面を印刷したときに、上部の枠線の位置を正しく印刷されるようにし、画面の下部にファイル名を印刷するようにしました。
- 編集画面右側の編集ボタンやボタンなどのGUIオブジェクトで、表示される文字の右端が切れたり「...」と省略されて表示される不具合を修正しました。

From:

<https://dolittle.eplang.jp/> - プログラミング言語「ドリトル」

Permanent link:

[https://dolittle.eplang.jp/release\\_note330?rev=1578370599](https://dolittle.eplang.jp/release_note330?rev=1578370599)

Last update: 2020/01/07 13:16

